

教科等	授業改善の視点	児童の学習状況	改善の計画と評価の方法
国語	①言語活動の充実「考え書く活動」の推進【学校経営方針】 ②学びを深めるための他者との対話の充実【校内研究】	①アンケート結果から、約9割の児童がすすんで学習に取り組んでいると答えているが、その中には思ったことや感じたことを書くことに課題のある児童もいる。 ②意欲的に発表したり話したりする児童は多いが、相手の話を聞くことが身に付いていない児童がいる。	①書き出す前に、内容について想起したり、思いを高める話し合いをしたりして書くことを見付けやすくする。 例文を提示して、まねしたり、自分の考えを <u>あてはめたり</u> して書き進めやすくする。 ②日常的に対話的活動を取り入れていき、友達と考えを交流させる良さや楽しさを実感させる。 話の聞き方などモデルを示しながらルールを身に付けていく。
算数	①東京ベーシックドリルの確実な実施と活用【学校経営方針】 ②考えや気付きを式や図、グラフ等を活用しながら伝える活動の充実【校内研究】	①アンケート項目「すすんで学習している」という項目に対して「とてもそう思う」と回答した児童は55%、「そう思う」と回答をした児童が31%であった。「授業は分かりやすい」という項目では、62%の児童がそう思うと回答している。このことから、学習内容を理解しているものの、「できた」という実感がもてていないと考える。児童が自信をもち意欲的に授業へ参加できるよう基礎学力の定着が必要である。 ②授業では、積極的に発言する姿勢が見られる反面、自分の考えたことを図で表現したり、友達に伝えたりする活動を苦手と感じている児童も少なくない。式や図、言葉で表現する力を育てていく必要がある。	①2学期以降に東京ベーシックドリルの活用を始め、まずは、児童の実態を把握し、ベーシックドリルの活用を進める。 <u>ICTの活用</u> を通し、学習を苦手に感じている児童の抵抗感を低くし、意欲的に取り組めことができるようにする。 ②式や図、言葉で表現できる児童の模範を示すことで、表現の仕方を学んでいく。低学年は、 <u>具体物の操作も重要</u> であることから、ブロック操作などの活動をしながら、 <u>ノートに書いて表現すること</u> に重点をおいて課題に取り組めるようにする。
生活	①めあてと振り返りのある「分かる」授業の充実【学校経営方針】 ②具体的な活動や体験の充実(学習材との対話)【校内研究】	①めあてと振り返りを行うことで、身近な人々や自然への気付きを感じることができた。さらに、身近な人々や自然、社会と自分自身とのつながりを考えたり気付いたことを自分の生き方に生かそうとしたりする態度を養っていく必要がある。 ②アサガオの栽培などの具体的な活動や体験に意欲的に取り組み、観察したことを生活科カードに書いたりタブレット端末で記録したりすることができた。表現することが難しい児童がいる。	①活動のねらいを達成できたと実感できるように、 <u>観察カードやワークシート、ICTを活用して振り返りを行う</u> 。 <u>グループや全体での交流を通して視点を広げたり考えを深めたりして、自分自身とのつながりを感じさせ、生き方に生かそうとする態度に価値付け</u> を行っていく。 ②ゲストティーチャーや地域との交流を図り、児童が意欲的に知識技能を伸ばせる具体的な活動や体験を計画的に取り入れる。表現については、 <u>視点や例文を示したり友達との対話から気付かせたり</u> することで練習を重ねていく。
音楽	①めあてと振り返りのある「分かる」授業の充実【学校経営方針】 ②視点を明確にした丁寧な振り返り【校内研究】	①アンケート項目「すすんで学習している」に対して「とてもそう思う」と回答した児童が66%であり、授業内容が思っていた以上に難しいと感じている児童も見られる。「やりたい」と「やれない」のギャップがある。振り返る活動を通して、「分かった(できた)」を実感する学習を重ねる必要がある。 ②学習の到達目標が、活動内容とどのように結びついているのかを明確にし、児童にわかりやすいように視覚化するなどの工夫を行う必要がある。	①活動を始める前の説明を、口頭のみではなく、 <u>絵や図など視覚で伝わるよう工夫すること</u> で、児童が集中して取り組めるようにする。 ②視点を明確にした振り返りで、 <u>具体的な課題を捉えたり改善したり</u> することができるようにし、2学期以降の授業アンケートの同項目に対する「とてもそう思う」回答のポイントの上昇を目指す。
図画工作	①児童が「自分(たち)の学習を自分(たち)でつくる」授業の充実【学校経営方針】 ②学びを深める「他者との対話」の充実【校内研究】	①アンケート項目「すすんで学習している」という質問項目に対して「とてもそう思う」「そう思う」の肯定的な回答をした児童が94%であった。このことからほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。 ②活動中や作品が完成した後に互いの作品を鑑賞し合い、よさを見付けたり自分の表現に生かしたりすることができているが、十分とは言えない。	①絵の具やクレオンの他に、 <u>素材の形や質感を生かした造形遊び</u> など、 <u>表し方や用具・材料についての経験</u> を充実させていく。今後、様々な表し方や材料・用具の中から自ら考えたり決定したりすることができる授業づくりを行う。 ②鑑賞し合う活動では、 <u>どのような点に注目するの</u> か鑑賞の視点を提示し、学びを深めていけるようにする。また、 <u>児童同士で相談したり助け合ったりする機会</u> を設ける。

<p>体育</p>	<p>①運動の日常化、体育的活動の充実【学校経営方針】</p> <p>②ふり返り活動の充実【校内研究】</p>	<p>①アンケート項目「すすんで学習している」に対して「とてもそう思う」「そう思う」と回答した児童は約9割であり、日常的に体を動かすことに対する意識がとても高い。</p> <p>②アンケート項目「授業は分かりやすい」に対して「とてもそう思う」「そう思う」と回答した児童は約9割であり、運動や活動をふり返る学習を充実させて、児童全員が「分かった」と実感する学習を重ねる必要がある。</p>	<p>①主運動につながる運動で、<u>手軽で容易な運動やゲーム形式の楽しい運動等を取り入れる</u>ことで、児童の運動への意欲を引き出し、家庭や休み時間等に取り組める運動の具体例を示す。</p> <p>②自分や友達の運動について、<u>ワークシートや学習資料、ICTを活用して学習のめあてに対する成果や課題を捉えたり改善したりすることができるようにし、2学期以降の授業アンケートの同項目に対する「とてもそう思う」回答のポイントの上昇を目指す。</u></p>
<p>道徳</p>	<p>①主体的に自己を見つめ、考えを深める授業の充実【学校経営方針】</p> <p>②多様な視点での気付き、ふり返り活動の充実～良さ・変化・生き方～【校内研究】</p>	<p>①登場人物の気持ちに寄り添って考えることはできている。しかし、自分自身を客観視することが難しく、日常生活に置き換えて考えることに難しさが見られる。</p> <p>②明るく元気に生活する一方で、アンケート項目「じぶんによいところがあるか」に対して、否定的回答をした児童が約2割いた。自分の得意なことを知り、良いところに気付く機会を多くもっていく必要がある。</p>	<p>①授業内容を考えていく際、<u>経験や体験によって大きい差が見られる時期であることから、友達の考えを聞いたり、共有したりする場を多く取り入れるようにする。</u></p> <p>②友達の考えに興味をもって聞くことができるよう、児童にとって親しみのある話題性を取り入れるようにする。<u>他者との対話を通し、自分の考えと比べ自分の考えに気付く機会を多くもてる授業展開にする。</u>また、友達の考えを知ることで、自分とは違う他者の存在や考えに気付かせるようにする。</p>